



地域医療連携室だより Vol.154

発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
F A X 077-522-0192 発行日:2022年3月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

ロングターム イージーエフアール プロット

Long term eGFR plotを活用し、地域全体で腎臓を守る時代へ

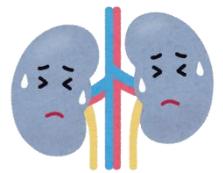
内科診療部長(腎臓内科部門):

なかざわ じゅん
中澤 純



「治療目標が達成されていないにも関わらず、治療が適切に強化されていない状態」をクリニカルイナーシャと呼びます。慢性腎臓病(Chronic kidney disease: CKD)におけるクリニカルイナーシャとは「腎機能が悪化しているにも関わらず、治療が適切に強化されていない状態」と言えます。

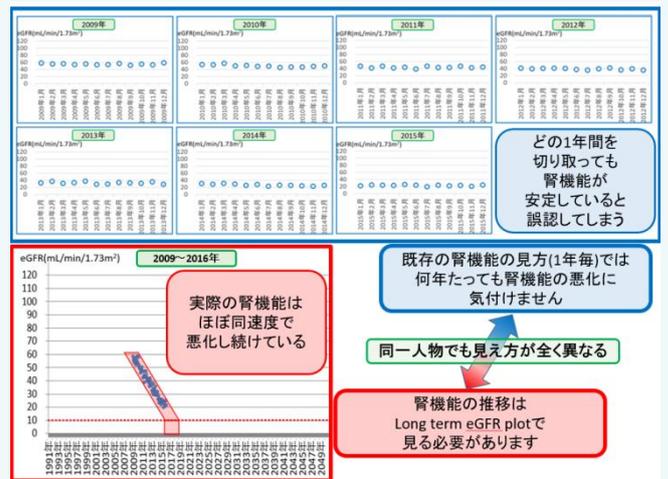
腎機能の指標である eGFR は加齢とともに低下しますが、高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、腎炎等の影響でその低下速度が速くなると、透析や腎移植に至るリスクが高くなります。「経時的な腎機能(eGFR)低下」は日常診療において適切に拾い上げられている



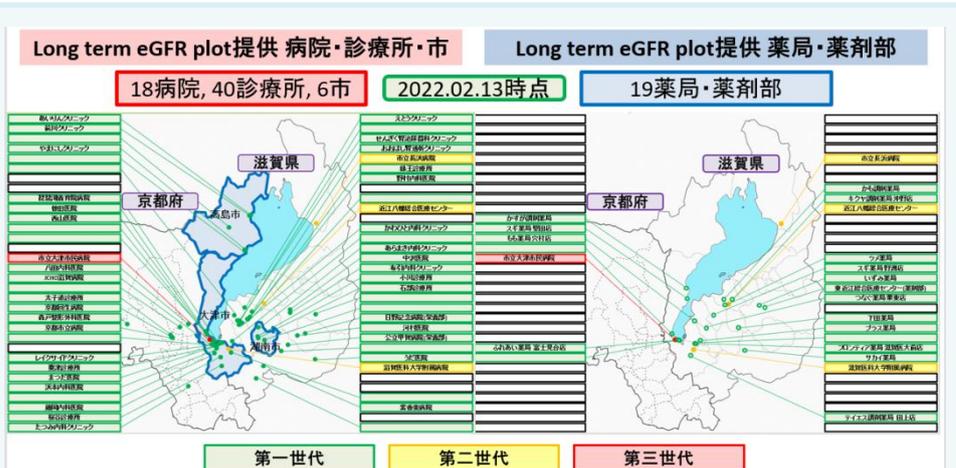
と誤解されがちです。しかし、eGFR は普段から相当大きく変動しているため、1~2 年程度の推移の観察では、変動幅に eGFR 低下量が埋もれてしまうため、何年も気付かれなまま経過していることが多いのが現状です。腎機能の悪化に気付かれなければ治療介入もなされません。つまり、既存の腎機能の観察方法がクリニカルイナーシャの原因となっています。

この問題を解消すべく、得られる全ての eGFR の長期推移を一括表示する「Long term eGFR plot」を開発・臨床応用し、既存法で見逃されていた多くの腎予後不良症例を発見し、予後改善に繋げております(図1)。

同時に、他の病院・診療所・薬局・市へも「Long term eGFR plot」をご提供させて頂き、地域全体で腎予後不良症例の早期発見にご協力頂いております(図2)。



【図1】1年間のeGFR推移を確認しても、腎機能の経時的悪化に気付くのは困難



【図2】 Long term eGFR plot ご提供先(上記以外に管理栄養士個人へも複数ご提供)

過去の検査結果があると、初診時から Long term eGFR plot が活用可能となり、患者さん個人個人に合わせた適切な介入が可能となります。当科にご紹介の際には、お手数ですが過去の検査結果(血清クレアチニン値あるいは eGFR 値)を検査年月日とともに、できるだけ多くご提供いただくと幸いです。



血液浄化部のご紹介

血液浄化部 技師長：吉村 規子



当院の血液浄化部は、20床のベッドを配置し、月水金は午前午後の2クール・火木土は午前1クールで透析治療を行っています。また、腹膜透析外来や血漿交換（PE・DFPP など）・顆粒球除去療法（GCAP）などの特殊血液浄化療法も実施しています。

血液浄化部のスタッフは、医師4名、臨床工学技士（CE）12名（兼務有り）、看護師（Ns）4名、看護助手1名、事務員1名で構成されています。透析患者さんは、腎臓だけでなくその他の合併症を持っていることが多いため、総合病院の特長を活かし、他科との連携を密にして日々、治療に当たっています。



当院血液浄化部の強みは、CE・Nsともに透析中の患者管理を行っていることです。それぞれの視点で患者さんにとってよりよい透析治療を行えるよう研鑽を積み、協力して安全な透析治療を提供しています。



超音波エコー測定の様子

またもう一つの強みは、CEによるバスキュラー・アクセス管理（シャント管理）です。患者さんごとにステージを分け、定期的に視診・超音波エコーでの血流量測定を行い、異常を発見した際は、精密検査や処置に繋がっていきます。年間100件程度実施しており、透析患者さんにとって最も大切な“シャント”をトラブルなく、1日でも長く大切に使えるよう注力しています。

血液透析という体外循環を安全に行うためには、慢性期治療だからこそ気付くことができる“いつもと何か違う”という感覚が大切で、その感覚が患者さんの変化を早期にキャッチできると考えます。私たちは、これからも多職種で連携し、透析医療を支えていきたいと考えています。



血液浄化部スタッフ

医療安全管理者の紹介

医療安全管理者：木村 ゆりこ



平素より医療の質・安全管理室の取り組みにご理解、ご協力を賜りありがとうございます。今年1月から新しく医療安全管理者となりました木村です。よろしくお願いいたします。

今回は、当院の医療安全体制についてご紹介いたします。当院では毎週金曜日に「医療安全カンファレンス」を行っています。各所属長等で構成されたメンバーにより、職員から提出されたインシデント・アクシデント報告を確認し、特に必要と思われる事案について討議しています。そこで出された改善策は必ず職員に還元し、再発防止につなげています。また、毎月第2水曜日には、「医療安全管理対策委員会」を開催しています。病院長が委員長となっており、毎月の事故報告や医療事故が起こった際の院内アクシデント調査委員会の開催の必要性等を討議しています。「院内アクシデント調査委員会」では、起こった医療事故に対しての病院の見解を導き出すため、職員へのヒアリングを行ったり、必要があれば院外から専門医師を招いてご意見を伺うこともあります。私達は病院として、真摯に医療事故と向き合うことが責務であり、このような会議を開いて再発防止に努めています。



医療の質・安全管理室スタッフ

患者さまに安全な医療が届けられるよう、今後も取り組んでいきたいと思っております。

令和3年度 市立大津市民病院 学術講演会/意見交換会開催報告

日時：令和4年2月10日(木) 16時～17時

開催方法：Microsoft teams を用いた Web 開催

配信場所：市立大津市民病院 9階会議室 A・B

演題：成人先天性心疾患 -外科医の立場から-

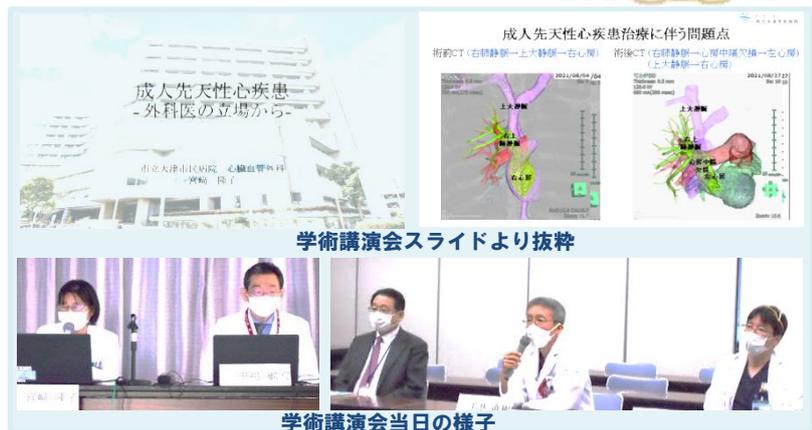
講師：市立大津市民病院

心臓血管外科診療部長(心臓外科部門)

宮崎 隆子先生

参加者：院外 12名、院内 8名

共催：公益社団法人大津市医師会/市立大津市民病院

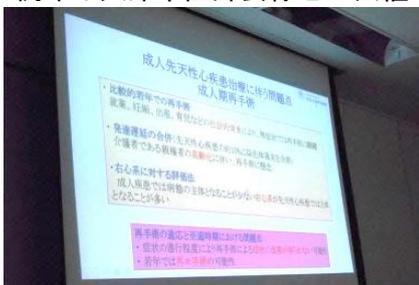


学術講演会スライドより抜粋

学術講演会当日の様子

表題の講演会/意見交換会を上記の要領で開催いたしました。

例年は大津市医師会様との共催で病院見学会として開催しているものですが、今年度は昨年度から続くコロナ禍の影響を受け、現地集合の「病院見学会」を中止とし(昨年度も中止)、学術講演会/意見交換会のみを Web 開催いたしました。



学術講演会では、現在、滋賀県内に先天性心疾患の小児が成人された後のフォローアップを担う医師が不在のため、患者さんは大阪まで通院しておられるのが現状で、今後その方達を滋賀県でどうフォローアップしていくか、そのためのシステム作りやチーム医療について意見交換が行われました。



2年目研修医note



- ①名前：夏秋 聡（なつあき さとし）
- ②出身大学・卒業年度：兵庫医科大学 2020年度
- ③趣味・特技・好きな時間の過ごし方など：料理とゲームが好きです。
- ④医師を目指した理由：医師である両親にあこがれて
- ⑤どんな医師になりたいですか？：患者に頼られる医師
- ⑥研修医2年目の目標：今後役に立つ勉強をしていきたい
- ⑦地域の先生方へのメッセージ
滋賀での生活も残りわずかですが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



**MSW
アイコさん**

作・画
まきろん

①

OG訪問

アイコ先輩
よろしくお願ひします！
こちろこそ

②

授業で「MSWに向いてる人」を教えてくださいました

うん うん
そだねー

人と関わるのが好きで
相手の立場で考えられる人

③

細かい心配りができて
信頼感のある人

コミュニケーション能力や
マルチタスク処理能力や
柔軟性があつて
責任感が強い人

④

私になれるでしょうか？

アイコ先輩？
ナントカナルヨ…

クイズの答え：1ページ目 右下/2ページ目 左下/3ページ目 右上写真/4ページ目 MSW アイコさんタイトル内/入退院センター工事お知らせ 左下

入退院センター工事終了のお知らせ

だより2月号でお知らせ致しました工事が終わり、3月14日月曜日よりニューアルされた入退院センターで運用を開始致します。

3月14日（月）より入退院センターで運用いたします。

